

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和3年10月1日

①学校名:	名古屋市立大学 大学院(公立)		②所在地:	名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1				
③課程名:	看護学研究科博士前期課程看護学領域 看護実践スキルアップコース	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2018年 4月1日			
⑥責任者:	看護学研究科長 薮隆文	⑦定員:	10名	⑧期間:	1年			
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>医療の現場は、多様化・複雑化しており、学部教育とその後の卒後現任教育だけでは十分でないことが実務家らの実感である。博士前期課程に入学してきた中堅看護師から「理論やエビデンスに基づいた実践が身につけていない」「自らの実践の意味を言語化できない」と聞くことも多く、日々の業務に追われ、看護の本質を見失っている者も少なくないと思われる。そのような看護職が大学院で学ぼうとすると、退職または休職、あるいは就業と学業の両立が必要となり、大学院への入学は容易ではない。</p> <p>このような状況をふまえて本コースは、医療や看護の最新の知見と理論の実践への適用方法を学び、ケーススタディを通して実践の効果を検証することでより効果的な看護実践を見だし、職場全体の看護の質向上に貢献しうる看護職者を育成することを目的としている。それにより地域の看護水準向上も期待できる。</p> <p>科目等履修生として本コースの対象となる科目の中から2科目以上履修し、担当教員の指導のもと“ケーススタディ”を行った者に修了証を交付する。</p>							
⑩10テーマへの 該当の有無	医療・介護	⑪履修資格:	看護師免許を有し、3年以上の実務経験がある。					
⑫対象とする職 業の種類:	看護師・保健師・助産師							
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 理論やエビデンスに基づく実践と検証を通して効果 的な看護実践を導くための知識・技術・技能			(得られる能力) 臨床現場の中核として、課題解決のためのスキル を開発する能力、新人看護職者等を育成する能力				
⑭教育課程:	受講可能科目には理論を幅広く学ぶ科目や看護実践力を強化する科目など13科目が準備されている。そのうち受講者自身が課題と考えている分野や強化したい分野の科目を受講する。それらの科目を修得した上で、実際の患者を対象としたケーススタディを倫理的配慮を行いながら実践し、ケーススタディ(1科目)の単位を修得する。ケーススタディの指導は受講者の実践分野に精通する専門分野の教員が担当する。							
⑮修了要件(修 了授業時数等):	本コースの対象となる科目の中から2科目(4単位)以上履修し、担当教員の指導のもとケーススタディ(1単位)を修了出来た者							
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	看護実践スキルアップコース修了							
⑰総授業時数:	27	単位	⑱要件該当授 業時数:	27単位	該 当 要 件	双 方 向 実 務 家 実 地	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	授業科目についてはプレゼンテーション・ディスカッションに加えてレポート提出により学習目標の到達度を評価する。ケーススタディは、ケーススタディ発表会による発表と事例レポートの提出により評価する。							
㉑自己点検・評 価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。研究科内の自己点検評価委員会で、受講状況や受講生へのアンケート、カリキュラム評価委員会から提出された評価報告書等に基づきプログラムの成果を毎年評価し、適宜プログラムを改善する。また、当該検証・評価結果はホームページで公表する。							
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了者へアンケートを行い、修了後の活動状況や進路を把握し、修得したスキルが実践でどのように活かされているかを把握する。							

②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 看護学研究科の教員以外の者複数を含むカリキュラム評価委員会を組織し、教育課程に対する評価を委嘱する。 (自己点検・評価) 看護学研究科の教員以外の者複数を含むカリキュラム評価委員会を組織し、教育効果に対する評価を委嘱する。
②④社会人が受講しやすい工夫:	16時以降の授業が豊富であること。ケーススタディの指導は受講生の都合に合わせて夜間も対応する。また、授業を行う場所は地下鉄駅前で受講生にとって利便性の良いところである。
②⑤ホームページ:	(URL) https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/academics/graduate/skill_up/

事務担当者名:	豊島 行男	所属部署:	名古屋市立大学看護学部
連絡先:	(電話番号) 052-853-8037 (E-mail) toyoshima-yukio@sec.nagoya-cu.ac.jp		

- * パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。
- * 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。